

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年1月22日

公表: 令和6年2月12日

事業所名 たまりば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・遊びの内容によってはコーナーを設置するなど安全に過ごせるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	2	3		・配置数は適切であるが学校送迎の時間が重なると一時的に職員数が少なくなることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・当日いない職員には後日申し送りを確実にやっている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・アンケートだけに限らず普段より保護者との対話を心掛けている。	・毎年アンケートを実施している。結果内容を職員間で話し合い業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		・行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・多くの研修に参加する為市からのメールを頻繁に確認するよう心掛けている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		・個別面談を行う際保護者のニーズを聞き支援計画に取り入れている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・全職員で意見を出し合い内容を考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・新しい活動を取り入れたルールを変えるなど飽きないよう配慮している。	・利用者の特性に合わせ支援内容を考えるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		・毎日の打ち合わせはできているが課題を決められていないときもある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・職員全員で話し合いを行い児童の状況に合った計画を作成するようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・毎日支援前にはミーティングを行い確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・毎日夕礼時に当日の振り返りを行っている。休みの職員には後日情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・毎日個別課題を行った際の記録を残し、課題内容の改善に役立てている。	・支援記録表の記入が雑になってしまったり記入忘れもある為その都度記録することを徹底し支援の充実に繋げていきたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・適任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		・学校側から聞くだけではなくこちらから確認したり質問することもある。	・トラブル発生時などの連絡は管理者が迅速に対応するよう心掛けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5			・現在該当者はいないが今後受け入れの際にははっきり連携し対応していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		・園と直接連絡を取ることはないが相談支援専門員からの情報を聞き参考にすることはある。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5			・現在該当者はいないが今後移行される方があったときにははっきり連携を図っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		・研修を受ける為業務を効率化し時間を作っている。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	・地域と交流が持てるよう外出活動を取り入れている。	・外出活動でよその子と接する機会はあるが関わろうとする姿は殆ど見られない為、きっかけ作りを提供していきたい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時に直接伝えたり、連絡ツールを使用している。	・課題があればその都度話し合うよう心掛けている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5			・できていない為必要があれば今後取り組んでいきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・普段より気軽に相談しやすい関係を作るよう努めている。	・適切な対応ができるよういろいろな知識を身に付けていく。・相談事があったときには話を聞き柔軟に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・コロナが明け久しぶりに茶話会を実施した。	・参加者が少なかった為実施時期を考慮する。・茶話会を通して保護者間の繋がりを広げ保護者同士が連携しやすくなるような内容を検討していきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・苦情はないがあった場合には管理者が迅速丁寧に対応するよう努めていく。てん保護者からの意見、要望等あれば管理者が対応する。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	・毎月活動予定表を作成し各家庭に配布している。・活動の様子を毎月ブログに載せている。	・会報の発行はしていないが希望があれば考えていきたい。	
	35	個人情報に十分注意している	5		・鍵付き書庫に保管。不要になった書類はシュレッダー処理をおこなっている。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・絵カードやゼスチャーを使う。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		・現在は行えていないが機会があれば実施していきたい。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		・職員は周知しているが保護者までにはなされていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	・年2回(春、秋)防災訓練実施。	・毎月防災学習の日を設け(動画や紙芝居など)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	・毎月対応記録を作成し虐待防止の意識の向上を図っている。・研修にも参加している。	・対応記録を残すと共に職員間で情報の共有を行い虐待防止の意識を高めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		・個別支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	・医師の指示書は貰っていないが、アセスメントの際保護者から詳しく聞き取りはしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	・事例報告書を基に職員全員で対応について話し合いを行っている。	